

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立宮代特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	児童生徒一人一人の実態を学校全体で日常的に把握し、課題を分析しようとしている。学校に寄せられる期待に十分応え、学校の教育目標などを踏まえた特色ある学校像にしていきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。児童生徒・学校関係者や教職員などの意見や要望、様々な資料を反映した、中期的な目標としてふさわしいものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	年度当初に「学校自己評価システムシート、校内評価、教職員自己評価シートのPDCAサイクル」を教職員に提示し、評価運営委員会と学部・分掌・委員会が連携して、学校自己評価システムを運営している。本システムが組織的かつ適切に運営されており、学校関係者の意見などがうまく活用された取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいた方策が学部・分掌・委員会で策定され、組織的に実施されている。学校全体の目標と相互に有機的に結び付けて、一層のレベルアップに向けて更に組織的にチャレンジな課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、企画委員会が適切に機能しており、「肢体不自由教育の専門性の向上」に係る研究等を推進するなど教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示され、次年度の目標・方策の設定に生かしている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう保護者アンケート等の工夫を進め、その結果を分析するなどして、より組織的なPDCAサイクルを確立していきたい。	
特記事項			